

月曜 スマイル

火曜 老舗探訪

水曜 達人

木曜 メディカル

齊藤 歯科 室

千種区



「歯を守ることは患者を守ること」と信念を語る齊藤院長

略歴

1947年生まれ。72年愛知学院大学歯学部卒。その後同大 学口腔外科勤務を経て、75年齊藤歯科室を開院。現在、愛知県歯科医師会、愛知歯科協会の理事、愛知国民健康保険組合の理事、全国国民健康保険組合の理事など、歯科医師の業界団体の役職を務めている。

町の歯医者さん

齊藤歯科室は昭和50年11月、名古屋市千種区末盛通の末盛城址真向かいに開院した。当時から現在に至るまで目立つ看板もなく、そこに歯科医院があることに気づかない人も多いと思われる。だが、齊藤佳雄院長の治療法に信頼を寄せ、患者は多く、遠方からも治療に訪れている。

齊藤院長は「歯を守る歯科医療」を信念としており、患者の歯は「抜かない、削らない、神経を取らない」を原則として治療に取り組んできた。

多くの人は、歯が痛くなってから歯科医院に駆け込む。そしてできるだけ早くこの痛みをなくしてほしい、と希望する。それは患者としてほんのりとした望みだが、齊藤院長は決して治療を急がない。

虫歯の治療において多くの歯科医院で行われているのが「悪くなっている箇所とその周辺を削り、人工物をかぶせる」こと。その治療法を否定するものではないとしながらも、齊藤院長

「歯を守る医療」の信念貫く

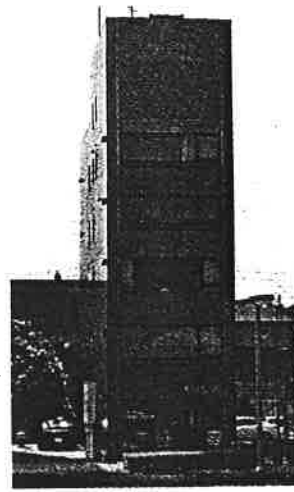
ブラッシングで治癒力引き出す

心がけているのは「できるだけ患者さんの歯の保存に努めること」である。可能な限り削らない。削る際、人工物をかぶせる際もその範囲を最小限にとどめる。そのため、齊藤院長が力を入れているのがブラッシング指導。「適切なブラッシングによって患者自身の自然治癒(ちゆ)力を引き出すため」という。

歯が欠けた、割れた、虫歯がひどくて入れ歯にしなければと言われた、と同歯科室を訪れる患者。その患者のほとんどが、自分の歯でその後何十年も健全な食生活をすごしている。齊藤院長の治療の実績そのものだ。

齊藤院長のポリシーの根底に流れているのは、自然に対する謙虚さ。「人間がどんなに素晴らしい先端技術を使って天然歯に似たものをつくるのができて、天然歯にはかなわない。熱く燃えている。

多くの臨床例を専門書に発表し、全国各地で講演も多い。さらに歯科医師の業界団体で様々な役職をこなしながら、自身のポリシーである「歯を守る歯科医療」の啓もう活動も行っており、齊藤院長は実に多忙。その穏やかな表情で静かに



東山通沿いのSKYビル2階で営業する「齊藤歯科室」

● 齊藤歯科室 名古屋市千種区末盛通3の34・SKYビル2階
電話052・763・0878。